モニタリングシート

施設名	高齢者在宅サービスセンター長房

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	指定管理者自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	介護職員14名		A	介護保険法運営基準に定める人員配置基準に基づき適正に配置している。	B	介護保険法運営基準に定める人員配置基準に基づき適正に配置している。	A	介護保険法運営基準に定める人員配置基準に基づき適正に配置している。	A	介護保険法運営基準に定める人員配置基準に基づき適正に配置している。
		稼働率70%								B	目標の75%平均稼働率を超えることができた。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例:銀行口座】	B	給与等一時に多額の支払いを要するものは法人全体の通帳で、それ以外は指定管理業務に係る収支を経理する通帳として専用の口座を開設。	B	給与等一時に多額の支払いを要するものは法人全体の通帳で、それ以外は指定管理業務に係る収支を経理する通帳として専用の口座を開設。	B	給与等一時に多額の支払いを要するものは法人全体の通帳で、それ以外は指定管理業務に係る収支を経理する通帳として専用の口座を開設。	B	給与等一時に多額の支払いを要するものは法人全体の通帳で、それ以外は指定管理業務に係る収支を経理する通帳として専用の口座を開設。
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例:独立した会計帳簿】	B	法人において、指定管理に係る会計を他の部門と区別して元帳を作成している。	B	法人において、指定管理に係る会計を他の部門と区別して元帳を作成している。	B	法人において、指定管理に係る会計を他の部門と区別して元帳を作成している。	B	法人において、指定管理に係る会計を他の部門と区別して元帳を作成している。
			利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B	システムのプログラムに即して請求、徴収を適正に執行している。	B	システムのプログラムに即して請求、徴収を適正に執行している。	B	システムのプログラムに即して請求、徴収を適正に執行している。	B	システムのプログラムに即して請求、徴収を適正に執行している。
		収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例:事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	収入は、稼働率を反映して予算比減となっているが、支出は概ね予算通り執行。稼働率安定更に目指す。	B	給与支出の大幅マイナスはご指摘の通り賞与(処遇改善加算支給含む)は概ね予算通り執行。稼働率の安定を更に目指し純益の安定化をめざす。	B	稼働率の70%以上が安定して続くようになり、収益面も目標の数値を超えたが、これから寒い季節に入るが、こうした季節の変化にも耐えうる状況をいかに生み出すかを課題にして取り組んでいく。	B	安定稼働と稼働率の更なるアップを確実に行い、働く職員の処遇の改善に努めていく。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例:事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B	人材育成のため必要な研修ができる体制をさらに工夫。規定に基づく適正な人員配置を心掛ける。	B	規定に基づく適正な人員配置を心掛ける。	B	規定に基づく適正な人員配置を心掛ける。	B	規定に基づく適正な人員配置を心掛ける。
			給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例:給与規程・賃金台帳】	C	法人給与部門、経理部門と協議し、問題解決にあたる。	B	法人給与部門、経理部門と連携し透明化を遵守する。	B	法人給与部門、経理部門と連携し透明化を遵守する。	B	法人給与部門、経理部門と連携し透明化を遵守する。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	C	第三者契約書類の整理をしっかり行い、適正な契約書を揃える。	B	今後も施設の管理運営に関しては、市と緊密に連携していく。	B	今後も施設の管理運営に関しては、市と緊密に連携していく。	B	今後も施設の管理運営に関しては、市と緊密に連携していく。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例:条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B	今後も規則に定める開館、閉館日時を遵守。	B	日々の業務の記録を更に正確に行えるように重ねてのチェックを行う。	B	日々の業務の記録を更に正確に行えるように重ねてのチェックを行う。	B	日々の業務の記録を更に正確に行えるように重ねてのチェックを行う。
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合) 【確認資料例:減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】								
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例:ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	C	指導で指摘された通り、ファイル基準に基づき適切なファイリングを正確に行う。	B	ファイル基準に基づき適切なファイリングを正確に行う。	B	ファイル基準に基づき適切なファイリングを正確に行う。	B	ファイル基準に基づき適切なファイリングを正確に行う。
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例:事業報告書・実地調査】	B	利用者様の安全に基づき、施設整備を行う。	B	利用者様の安全に基づき、施設整備を行う。	B	利用者様の安全に基づき、施設整備を行う。	B	利用者様の安全に基づき、施設整備を行う。
			備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	B	今後も、備品管理を行い、基準の備品増設と廃棄の報告をしっかりと行う。	B	今後も、備品管理を行い、基準の備品増設と廃棄の報告をしっかりと行う。	B	指摘に従い、備品番号の記載の点検を行う。	B	指摘に従い、備品番号の記載の点検を行う。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の交流を図る行事を1回開催／月		C	ご指摘の事業計画にある行事を月に一回開催。利用者様に喜ばれ、交流の深まる企画の充実を図る。	C	ご指摘の事業計画にある行事を月に一回開催。利用者様に喜ばれ、交流の深まる企画の充実を図る。	B	今後も事業計画にある行事を月に一回開催。利用者様に喜ばれ、交流の深まる企画の充実を図る。	C	今後も事業計画にある行事を月に一回開催。利用者様に喜ばれ、交流の深まる企画の充実を図る。
		利用者満足度90%／年								B	更に喜んでいただけるセンターを目指します。
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	細かな事象、電話応対記録特記事項など、全職員が意識をもって記録し些細なご意見も見逃さないように連絡報告・相談を繰り返す。	B	細かな事象、電話応対記録特記事項など、全職員が意識をもって記録し些細なご意見も見逃さないように連絡報告・相談を繰り返す。	B	細かな事象、電話応対記録特記事項など、全職員が意識をもって記録し些細なご意見も見逃さないように連絡報告・相談を繰り返す。	B	細かな事象、電話応対記録特記事項など、全職員が意識をもって記録し些細なご意見も見逃さないように連絡報告・相談を繰り返す。
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定量的	利用料金収入予算額の90%～110%【110%以上でA・90%未満でC】								B	安定稼働と経費節減に努める。
		利用者一人あたりの経費(定員40名)予算額の90%～110%【90%未満でA・110%以上でC】								C	安定稼働と経費節減に努める。
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	外部講師・ボランティアによる活動4件以上／月		C	外部との交流を持つことが重要であるとの指導を受け、行事企画会議にて、外部交流に関して検討し、利用者様の喜ばれる交流を企画する。	A	外部との交流を持つことが重要であるとの指導のもと、ボランティアさんとの交流を深め、利用者様の喜ばれる交流を企画する。	B	外部との交流を持つことが重要であるとの指導のもと、ボランティアさんとの交流を深め、利用者様の喜ばれる交流を企画する。	B	ボランティア団体・個人の交流を深め、利用者様の喜ばれる企画を検討し実践する。
	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	B	環境に配慮した取り組みを小さな事でも、提案・検討し実施する。	B	環境に配慮した取り組みを小さな事でも、提案・検討し実施する。	B	環境に配慮した取り組みを小さな事でも、提案・検討し実施する。	B	環境に配慮した取り組みを小さな事でも、提案・検討し実施する。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	防災訓練を年2回実施		B	ご利用者様にも参加いただき、7月8日に開催。今後も、防火防災訓練を計画実施する。	B	ご利用者様にも参加いただき、7月8日に開催。今後も、防火防災訓練を計画実施を季節ごとに開催。	B	今後も、防火防災訓練を季節ごとに実施する。	B	今後も、防火防災訓練を計画的に実施する。
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	最重要と位置付け、個人情報の取り扱いについて随時、検討を進め、さらに新しい情報を確認する。	B	最重要と位置付け、個人情報の取り扱いについて随時、検討を進め、さらに新しい情報を確認する。	B	個人情報の取り扱いについて最重要と位置付ける。	B	個人情報の取り扱いについて最重要と位置付ける。
		緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例:保険証券】	B	継続して加入する。					B	継続して加入する。
			事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	今後も全体にもわかりやすいマニュアルの改訂をすすめ、共有化がしっかりできるよう配慮。	B	今後も全体にもわかりやすいマニュアルの改訂をすすめ、共有化がしっかりできるよう配慮。	B	今後も全体にもわかりやすいマニュアルの改訂をすすめ、共有化がしっかりできるようにする。	B	今後も全体にもわかりやすいマニュアルの改訂をすすめ、共有化がしっかりできるようにする。

期末総合評価	B
所管課コメント	稼働率については、年度平均において、昨年達成できなかった目標である70%に到達し、法人の対応がうかがえた。 協定内容及び事業計画に基づき、経営面、施設管理面ともに適切に事業を実施している。 稼働率については、年度平均において、目標である70%には到達していないため、今後更に対応策の検討及び目標達成に向け、努めていただきたい。 利用者満足度については、高い水準を維持していることから、サービスの充実、工夫が見られる。